

<日本語指導について>

担当課 指導課

○指導体制及び実施内容

- (1) 指導者 日本語指導教員 黒髪小学校 4人、桜山中学校 2人
日本語指導協力員（会計年度任用職員） 5人

(2) 実施内容

- 日本語の能力向上のための指導

日本語指導、適応指導、教科学習指導を段階に応じて対応		方法
初期指導	来日して間もない帰国・外国人児童生徒の場合、適応場面を通して初期指導を主にしながら、週に4～6時間程度日本語指導にあたる。指導期間は2～3か月程度であるが、児童生徒の実態により柔軟に対応する。	通級 ・ 派遣
定期指導	初期指導の後、様々な表現や語彙を増やすための日本語指導とともに、教科指導についても児童生徒の実態に合わせて週2～6時間程度行う。	

- 個別の事情や時期によってきめ細かな対応

教育相談、編入時の面談や教育相談、家庭訪問、三者面談などを行う。

※日本語だけでなく、必要な支援の内容が多様化しており、学校での生活状況を踏まえ対応している。

その他：進路相談等

- 学校での指導の様子

小学校



中学校



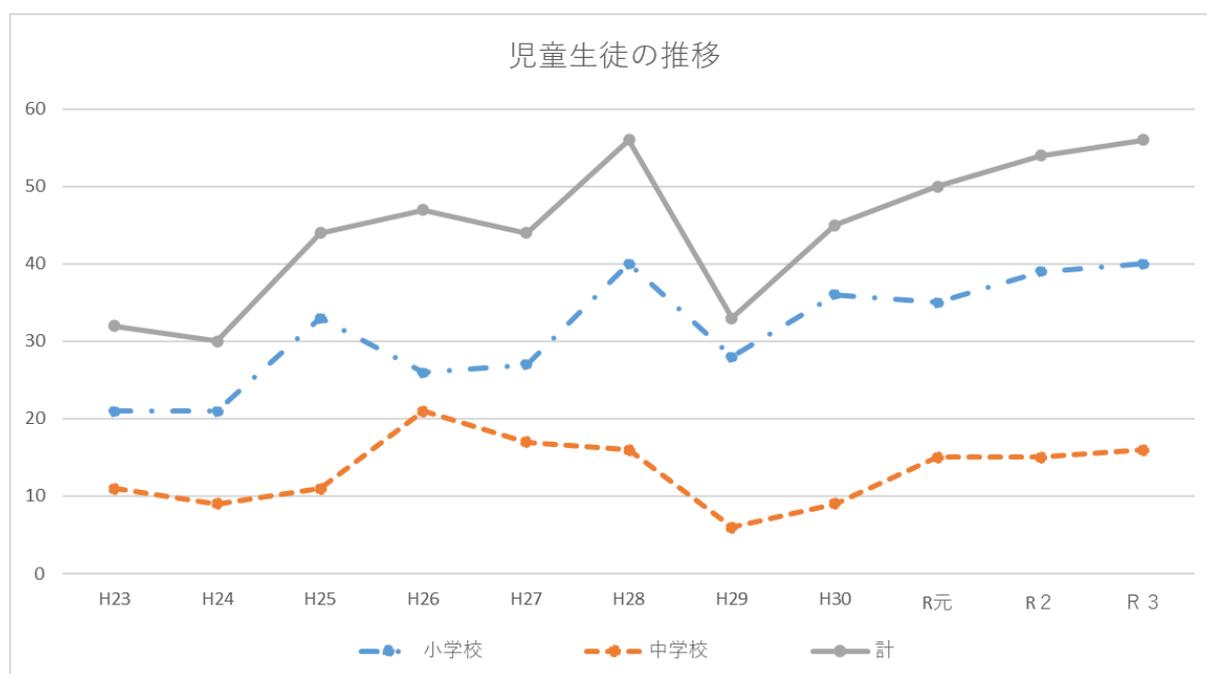
○日本語指導の児童生徒数 ※令和4年2月1日現在

(1) 指導児童生徒数 56人 (小学生 40人、中学生 16人)

(2) 在籍校 28校 (小学校 17校、中学校 11校)

小学校：壺川、五福、黒髪、春竹、白坪、画図、健軍、託麻原、龍田、白山、高平台、楠、月出、弓削、榆木、日吉東、菱形

中学校：出水、藤園、花陵、京陵、城西、錦ヶ丘、楠、武蔵、長嶺、日吉、下益城城南



(人)

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
小学校	21	21	33	26	27	40	28	36	35	39	40
中学校	11	9	11	21	17	16	6	9	15	15	16
計	32	30	44	47	44	56	33	45	50	54	56

(3) つながりのある国 15ヶ国

中国、香港、韓国、パキスタン、スリランカ、ネパール、フィリピン、ベトナム、モンゴル、
 バングラディシュ、アメリカ、エストニア、アフガニスタン、エジプト、スーダン